

30amA-628

Box-Pd (II) 触媒によるジインドリルケトンの合成

○沈 融¹, 新村 直彦¹, 石野 ゆかり¹, 日下部 太一¹, 加藤 恵介¹ (¹東邦大薬)

【目的・結果】先に我々はプロパルギルアミド、アセテート、ウレア、ジケトンの環化-カルボニル化-環化カップリング(CCC-Coupling) 反応を報告している¹。今回、2-アルキニルアニリン **1** を基質とした CCC-Coupling 反応を検討した。**1** を 5 mol % の [(L)Pd(tfa)₂] 錯体を触媒として、1.5 当量のパラベンゾキノン存在下、*i*-PrOH 中、一酸化炭素雰囲気下、-20°C から室温まで 72h 攪拌したところ、目的の反応が進行し、二つのインドール環を有するケトンが最高 91% の収率で得られることを見出した。



1) Kato, K. et al. *Angew. Chem. Int. Ed.* **2011**, *50*, 3912.